

記入例ー収集運搬業者用ー

計 7 枚中の 1 枚目

令和 6 年度 産業廃棄物処理実績報告書 (特別管理産業廃棄物を除く)

廃棄物処理業の許可番号を記入

提出年度を記入

報告日	令和 6年 5月 20日
許可番号	046*****
住所	鹿児島県〇〇市〇〇丁目〇〇
フリガナ	マルマルケイ
法人名	株式会社 〇〇建設
フリガナ	マルマル マルマル
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号	099*****

鹿児島県知事 殿
必ずトン単位で記入。量が少ないものも、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカン「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入

FAX番	099*****
メールアドレス	abcd@marumaru.co.jp

令和5年度分
種類のコード番号は、コード表①を使用。業種のコードは番号は、コード表②を使用。
業者のコード番号は、コード表④を使用。コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のままで可。
処理方法のコード番号は、コード表③を使用。
座版等で可。ただし、法人名及び代表者氏名にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

産業廃棄物		排出元		※区間運搬業者A		収集運搬	※区間運搬業者B		処分業者		県外搬出搬入	
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	県内持ち込み
がれき類	1,520.92	株〇〇産業	〇〇市					株〇〇環境	〇〇町	破碎	なし	なし
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④	345678	コード表④	987654	コード表④	123456	コード表③	204	なし

産業廃棄物		排出元		※区間運搬業者A		収集運搬	※区間運搬業者B		処分業者		県外搬出搬入	
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	県内持ち込み
廃プラスチック類	10	株〇〇工業	〇〇町					株〇〇環境	〇〇町	破碎	なし	なし
コード表①	0699	コード表②	10	コード表④		コード表④		コード表④	123456	コード表③	204	なし

産業廃棄物		排出元		※区間運搬業者A		収集運搬	※区間運搬業者B		処分業者		県外搬出搬入	
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	県内持ち込み
汚泥	30	有〇〇工務店	〇〇県			株〇〇社	〇〇県	株〇〇社	〇〇県	管理型埋立	なし	あり
コード表①	0201	コード表②	090	コード表④		コード表④		コード表④	987654	コード表③	302	あり

産業廃棄物		排出元		※区間運搬業者A		収集運搬	※区間運搬業者B		処分業者		県外搬出搬入	
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法	県内持ち込み
金属くず	40	株〇〇電設	〇〇市	株〇〇運輸	〇〇県			株〇〇セキ	〇〇町	金属の回収	あり	なし
コード表①	1299	コード表②	110	コード表④		コード表④		コード表④	567890	コード表③	103	なし

廃棄物の発生場所を記入する。県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出事業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。)

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

県外から県内への持ち込み、県内から県外への持ち出しの「あり・なし」を必ず記入する。

記入例－中間処理業者用－

複数の施設がある場合は、施設毎に「通し番号」を付ける。

提出年度を記入

令和 **6** 年度 産業廃棄物処理実績報告書（特別管理産業廃棄物を除く）

計 **7** 枚中の **1** 枚目

廃棄物処理業の許可番号を記入

鹿児島県知事 殿

処理施設の概要通し番号	1
施設の種別	木くず・紙くずの焼却施設
施設の所在地	〇〇市〇〇1-1
処理方法コード	201
許可品目	木くず・紙くず
処理能力	4トン/日

処理方法のコード番号は、コード表③を使用。

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入	
FAX番号	099*-***-***
メールアドレス	aaa@marumaru.co.jp

報告日	令和 6年 5月 20日
許可番号	046400000
住所	鹿児島県〇〇市〇〇2丁目〇〇
法人名	株式会社 〇〇環境社
代表者氏名	代表取締役 〇〇-〇〇
電話番号	099*-***-***

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

種類のコード番号は、コード表①を使用。業種のコード番号は、コード表②を使用。

業者のコード番号は、コード表④を使用。コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のままで可。

※残さありの場合、収集運搬業者 処分先等を記入し、残さ物がない場合は「残さ物なし」欄に「〇」を記入してください。

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理
種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所
木くず	2.5	株式会社〇〇建設	〇〇市
コード表①	080	コード表②	090
		コード表④	345678

産業廃棄物	委託量(トン)	収集運搬業者	処分業者	処理方法	管理型	県外搬出搬入
種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法
燃えがら	0.25	株式会社〇〇運輸	〇〇県	株式会社〇〇社	〇〇県	なし
コード表①	0102	コード表④	345678	コード表④	987654	302
※残さ物なし						あり

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理
種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所
木くず	1.2	株式会社〇〇工業	〇〇町
コード表①	080	コード表②	110
		コード表④	

産業廃棄物	委託量(トン)	収集運搬業者	処分業者	処理方法	管理型	県外搬出搬入
種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法
						なし
コード表①		コード表④		コード表④		なし
※残さ物なし						

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理
種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所
紙くず	0.35	株式会社〇〇印刷	〇〇市
コード表①	070	コード表②	190
		コード表④	333333

産業廃棄物	委託量(トン)	収集運搬業者	処分業者	処理方法	管理型	県外搬出搬入
種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法
						なし
コード表①		コード表④		コード表④		なし
※残さ物なし						

産業廃棄物	排出元	収集運搬業者	中間処理
種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所
木くず	2.5	株式会社〇〇興業	〇〇県
コード表①	080	コード表②	090
		コード表④	345678

産業廃棄物	委託量(トン)	収集運搬業者	処分業者	処理方法	管理型	県外搬出搬入
種類	委託量(トン)	収集運搬業者名	所在地	処分業者名	所在地	処理方法
						あり
コード表①		コード表④		コード表④		なし
※残さ物なし						

廃棄物の発生場所を記入する。県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出事業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所)

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

残さ物がある場合(中間処理後も残り、その後埋立等により処理される産業廃棄物がある場合。中間処理後有効利用した場合は除く。)のみ記入。有効利用した場合は、種類毎処理状況に記入。廃棄物の種類が同一である場合は、一行にまとめて書いて可。

県外から県内への持ち込み、県内から県外への持ち出しの「あり・なし」を必ず記入

記入例－中間処理業者（種類毎処理状況）用－

計 1 枚中の 1 枚目

令和 6 年度産業廃棄物処理実績報告書
－中間処理業者(種類毎処理状況)用－

鹿児島県知事 殿

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

報告日	令和 6年 5月 20日
許可番号	046400000
住所	鹿児島県〇〇市〇〇2丁目〇〇
フリガナ	マルマルコソコソヤ
報告者 法人名	株式会社 〇〇環境社
フリガナ	
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号	099*-**-*****
F A X	099*-**-*****
メールアドレス	aaaa@marumaru.co.jp

この様式には、排出事業者毎に記入した実績報告書(中間処理業者用)を集計し、産業廃棄物の種類(コード表①)の産廃種別大目毎に、残さの処分までの処理状況をまとめて記入すること。

令和5年度分の産業廃棄物の種類毎の処理状況について、次のとおり報告します。

産業廃棄物の種類	排出元	中間処理の種類	中間処理量	中間処理後量	処分方法	処分先
廃プラスチック類	県内	焼却	50 トン	0.8 トン	管理型埋立	宮崎県
がれき類	県内	破碎	600 トン	600 トン	路盤材等に利用	県内
汚泥	県内	脱水	1,000 トン	20 トン	肥料等に利用	県内
金属くず	県内	破碎	10 トン	10 トン	売却	県内
廃酸(特管)	熊本県	焼却	0.5 トン	0.01 トン	管理型埋立	大分県
			トン	トン		
			トン	トン		
			トン	トン		
			トン	トン		

中間処理量については、産業廃棄物の種類ごとに受託量を合計したものを記入。中間処理後量については、処分した場合は処分量を、有効利用した場合は有効利用量を、記入。

「処分方法」には、中間処理後量の処分及び有効利用の方法を記入。有効利用や売却している場合も「再生」、「売却」等を記入。

「排出元」及び「処分先」には、それぞれ「県内」、他の都道府県名又は「国外」を記入。

記入例—最終処分業者用—

廃棄物処理業の許可番号を記入

計 7 枚中の 1 枚目

提出年度を記入

令和 (6) 年度 産業廃棄物処理実績報告書

鹿児島県知事 殿

—最終処分業者用—

報告日	令和 6年 5月 20日
許可番号	0464777777
住 所	鹿児島県〇〇市大字〇〇123
フリカ、ナ	マルマルマル
法 人 名	(株)〇〇環境センター
フリカ、ナ	マルマル マルマル
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇
電話番号	099*-*-*

FAX及びメールをお持ちの事業者のみ記入

FAX番号	099*-*-*-*
メールアドレス	bbb@marumaru.co.jp

令和5年度分業廃棄物の処理実績について、次のとおり

施設の所在地を記入

必ずトン単位で記入。量の少ないものについても、少数点以下の値で記入。また、桁区切りのカンマ「,」と少数点の「.」は、はっきり区別して記入する。

座版等で可。ただし法人名及び代表者等にはフリガナを付ける。なお、押印は不要。

県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。

処 分 場 の 概 要	
名 称	〇〇環境センター〇〇処分場
所 在 地	〇〇郡〇〇町大字〇〇
施 設 の 種 類	安定型最終処分場
処理方法コード	301
面 積 m ²	10,000
容 積 m ³	30,000
許 可 品 目	安定5品目
設 置 年 月 日	平成7年3月1日
残 余 容 量	令和5年3月末の残余容量 5,000 m ³

令和5年3月末現在の残余容量を必ず記入

処理方法のコード番号は、コード表④を使用。
種類のコード番号は、コード表①を使用。
業種のコード番号は、コード表②を使用。

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	400	(株)〇〇産業社	〇〇市	(株)〇〇建設	(〇〇市)	なし	
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④	345678		

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
廃プラスチック類	0.5	(株)〇〇電機	(〇〇町)	(株)〇〇物流	〇〇市	なし	
コード表①	0699	コード表②	300	コード表④	222222		

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
がれき類	100	(有)〇〇工建	〇〇市			なし	
コード表①	1501	コード表②	090	コード表④			

産 業 廃 棄 物		排 出 元		取 集 運 搬 業 者		最終処分	県外からの持ち込み
廃棄物の種類	受託量(トン)	排出事業者名	発生場所	収集運搬業者名	所在地		
金属くず	1	(株)〇〇電設	(〇〇県)	(株)〇〇運輸	〇〇県	あり	
種類コード	1299	業種コード	110	業者コード	987654		

廃棄物の発生場所を記入。
県内の場合は市町村名を、県外の場合は県名を記入する。(※排出業者の所在地ではなく廃棄物の発生場所です。)

業者のコード番号は、コード表④を使用。
コード表に無い場合は、その業者の許可番号の下6桁を記入。判らないときは空欄のまま可。

県外から県内への持ち込みの「ありなし」を必ず記入